



2016年6月9日 第2239回例会
6月第2例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「ロータリー親睦活動月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



先週6月4日土曜日は、本年度最後の大きな行事である家族会をマツダスタジアムにて開催しました。あいにく雨の中でのプレーボールとなりましたが、何とか試合も成立

し、手強いソフトバンクを相手に1対1とまざまざの結果でした。雨の中を観戦頂きましたご家族の皆さんありがとうございました。そして今回も、柴田委員長はじめ親睦活動委員会の皆様に変なお世話になりました。ありがとうございました。

さて皆さんご存じのとおり、韓国において、5月28日(土)から6月1日(水)にかけて第107回ロータリー国際大会が開催されました。本日は、大会最終日の6月1日にラビンドランRI会長が語られた話を紹介したいと思います。話の内容は30歳でポリオに感染された会長ご自身の母親の話です。

母親がポリオに感染されたのは、ラビンドラン会長が11歳だった時のこと。母国スリランカで、ある朝に目覚めた母は、体のだるさと息切れを感じました。座ろうとすると足が動かないことに気づきました。ポリオウィルスがあっという間に神経系を侵し、足が麻痺していたのです。

すぐさま入院し、呼吸をするために「鉄の肺」に入れられました。医者からはもう二度と歩くことも、人工呼吸器なしに生きることもできないか

もしれないと告げられました。しかし、1963年当時のスリランカには人工呼吸器を備えている病院はありませんでした。

母親が入院した日の晩、ロータリーの会員だった祖父は、自宅の居間でクラブ委員会の会合を開きました。仲間の会員たちは、ただただ慰める代わりに、仕事の知識や人脈を生かして人工呼吸器を確保するためにすぐさま行動を起こしました。銀行マネージャーだった会員は、政府の高官に電話して、すぐに海外送金できるよう計らいました。スイス航空のマネージャーだった別の会員は、人工呼吸器を空輸する手はずを整えました。こうして翌日には人工呼吸器が病院に届いたのです。

「当時のスリランカでは、何もかもがお役所主義でしたが、ロータリアンたちはこれを取り払ったのです」と会長は振り返りました。母親の入院生活は1年半続きましたが、徐々に回復し、退院時には歩行器を使って自身の足で歩けるようになったそうです。

「53年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったのでしょ。以来、私たちは何百万という人の命を救ってきました」と、ラビンドラン会長。そして「今ここに母の息子として、そしてロータリーの会長として皆様の前に立ち、ロータリーが“ポリオのない世界”という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数か月先かもしれないということを申し上げます」と結ばれました。

● 会務報告

梶本幹事

※モンドラゴンからの礼状披露

平成28年6月吉日

広島西ロータリークラブ御中

広島市安佐南区八木3丁目30-4
復興交流館 モンドラゴン
館長 畠堀秀春

謹啓

貴クラブにおかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、梅林地区の自治会活動や去る平成26年8月20日に発生した広島豪雨災害の復興作業に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて過日は早々と御寄付をいただき、誠にありがとうございました。

弊館の活動をご理解いただき、身にあまる光栄に存じます。

頂戴いたしましたご厚志は「8.20 広島豪雨災害の復興と伝承事業」において大切に使用させていただくとともに、これからも精一杯活動していく所存でございます。

どうぞ、今後もお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様にくれぐれもよろしくお伝えください。

まずは取り急ぎ、書中にて御礼申し上げます。

謹白

● 第18回理事会報告

承認事項

- ①第16回理事会及び（第17回）臨時理事会議事録
- ②「活力あるクラブへの戦略計画」検証報告書
- ③山下秀雄君、渋谷勝治君、宮崎栄雄君退会申請承認
- ④社会・青少年奉仕部門強調プログラム活動報告書
- ⑤6月家族会活動計画変更

報告事項

- ①理事及び委員長活動状況
- ②5月度収支計算書報告
- ③あゆみ提出状況
- ④ホームページ掲載注意事項

協議事項

- ①園尾君からの寄付申し出について

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 中岡君

本日（6月9日・木曜日）

会員数 87名 出席者 74名

欠席者 13名 ご来客 4名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 78名

前々回（5月26日・木曜日）

出席率 100%



※ 親睦活動委員会

柴田委員長

去る6月4日、マツダスタジアムで行われました「家族会」、試合に合わせるように雨が降ってききましたが、5回コールドゲームで何とか試合も成立しました。結果は1対1のドロー。これで当委員会の今年度、すべての事業が終わりました。有難うございました。もう1つあります。前回の例会にて卓話をさせて頂きましたが、古い資料を参考にして原稿を作りましたが、いくつか誤りがありました。その中で「ロータリーの綱領」という文言を連発しましたが、今はその文言はありません。「ロータリーの目的 (Object Of Rotary)」に変更になっております。この文言はロータリー手帳の表紙の裏に書かれていますのでご確認下さい。すみませんでした。



※ 会報雑誌・広報委員会

香川(浩)君

ロータリーの友誌紹介

※ 次年度新原幹事

例会終了後、4階「ジャスミン」において次年度第6回理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。また、新旧引継ぎ

クラブ協議会を18:00から石亭において開催いたしますので、ご出席予定の各理事役員及び委員長はよろしくお願い致します。

● 同好会報告

🎮 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会6月例会のご報告

紫雀会6月例会は、たまには昼間からやろうという意見から、トライアルでやってみることになり、6月7日火曜日、いつもの庚午クラブで午後3時より行われました。

そんなトライアル麻雀を制したのは、序盤から連チャンで点棒を積み上げた木本さんです。序盤の勢いそのまま終盤まで続きそのまま逃げ切れ、みごと3勝目を飾られました。準優勝は小橋さん。3位は刀禰さんとなり、私はずっと蚊帳の外でございました。麻雀を終え、お好み焼きをみんなで食べ早めに帰路につきました。6月例会で本年度の麻雀会も無事終わり、今期の最多勝は鈴木が4勝、岡野さんも4勝と分けましたが、賞金王はやはり岡野さんとなりました。

次年の幹事は片山さんとなり、私の数年続きました世話人も一旦お休みとなり、少し肩の荷が下りております。次回例会は取り切り戦、7月21日木曜日、銀山町にありますシサールにて午後6時より行います。次年度も熱い戦いを期待しておりますので、メンバーの皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

● 会員記念日

🎉 祝 連続出席100% (3名)

長谷川君 (38年) 木本君 (11年)
村上君 (5年)

連続出席5年 村上 智亮 君に記念品贈呈



🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。(5名)

小橋君 新原君 林田君
吉田君 香川(浩)君

● スマイルボックス SAA 田中君

😊 齊藤君 (自主申告・大枚)

6月4日、次女が二人目の男の子を出産しました。3872gの少し大きめの赤ちゃんで、母子ともに元気で大変うれしく喜んでおります。孫の健やかな成長を願って出宝します。

😊 田中君 (自主申告・大枚)

次男が6月5日、当ANAクラウンプラザホテルにて結婚式を挙げました。これで子供3人全てかたづき、親としての責任が果たせました。若い二人の幸せを願って出宝いたします。

😊 山縣君 (自主申告・トリプル)

毎回失礼いたします。

先日、鳥取市の布勢(ふせ)陸上競技場で行なわれた大会で、息子亮太は4年ぶりの自己記録更新となる10秒06で勝利しました。これは今年の日本人最高タイムとなります。

残すところ6月24、25日の日本選手権の結果次第でオリンピックが決まります。

皆様の応援が大きな力となりますので、どうぞよろしくお願い致します。

毎回ですが、大枚はその時まで、とっておきます。

もし、その時は広島西RC会員が全員出宝をしましょう。

😊 柳原君

経済レポート6月9日号によると㈱広島精機は、公益財団法人ひろしま産業振興機構が発足させた広島県内20社による共同受注グループである「ヤマトプロジェクト」に参加されました。今後ますますのご隆盛を祈念します。

😊 紫雀会

優勝 木本君 ダブル
2位 小橋君
3位 刀禰君

■ 卓 話

戦略計画検証について



戦略計画検証特別委員会
齊藤 昭一 委員長

詳細は例会時に配布した資料をご参照ください。

電力・都市ガス小売り 全面自由化の動向



藤原 泰蔵 君

現在、エネルギー業界は、「全面自由化」という、大きな転換期を迎えています。

今年の4月から、電力の小売りが全面自由化され、来年4月からは、都市ガスの小売りが全面自由化されます。

これまでも、電力、都市ガスは範囲を限定しながら段階的に自由化が進められてきました。最初の自由化は、1995年、大規模工場などのレベルを対象に、都市ガスが自由化され、その5年後に、電力も自由化されました。その後も、ガスの自由化範囲の拡大後に、電力の範囲拡大が行われ、この度、前回の自由化から、およそ10年ぶりに、電力もガスも自由化範囲が拡大され、全面自由化となります。

今回の「自由化」は「エネルギーシステム改革」と呼ばれており、電力・都市ガスが自由に買えるだけでなく、様々な議論がなされています。

システム改革が進められる背景には、東日本大震災や原子力事故を契機に、従来の電力システムの抱える様々な限界が明らかになり、低廉かつ安定的な電力供給を一層進めることへの社会的要請の高まりがあります。

電力システム改革をうけて、来年、自由化される都市ガスですが、多くの課題があります。以下に、システム改革の目的を示しますが、都市ガスの場合、安全を確保した自由化というのも大きな課題です。また、両者の事業特性も大きく異なります。電力の10社体制に対し、都市ガスは大小様々なおよそ200の事業者が地域密着で事業を展開しています。さらに都市ガスの供給区域も国土の6%弱程度しかありません。スケジュール的にもタイトであり、事業者に対して、早急な検討・対応を求められる可能性もあります。

表. システム改革の目的

電力システム改革	ガスシステム改革
1. 電力の安定供給を確保	1. 新たなビジネスやサービスの創出
2. 電気料金を最大限に抑制	2. 競争の活性化による料金抑制
3. 需要家の選択肢や事業者の事業機会を拡大	3. ガス供給インフラの整備
	4. 消費者利益の保護と安全確保

次に、4月1日から電力小売り自由化がスタートしましたので、現状をご説明いたします。

昨年の12月頃より、新規参入事業者が、家庭向けの料金プランを発表し始め、大手都市ガス事業者や石油元売り、鉄道、通信事業者などが早々とPRを開始しました。比較的電気料金の高い、東京、関西地区は草刈り場のような表現もなされていましたが、平成28年5月13日現在の契約切り替え状況は、東京でおよそ2%程度となり、じわり移行という様子見状況となっています。中国地区は、0.04%に留まっています。

その要因は、様々あるかと思いますが、主なものとして、中国地区においては、電力小売り事業者が少ないことが挙げられます。これまで、電力は10社体制で供給され、地区毎に電力料金に差があったため、電力小売り事業者の参入状況に偏りができています。

しかしながら、自由化された電力市場は、今後とも、このような状況が続くとも思えません。一旦、既存の電力料金よりも5%程度安価な料金メニューを中心としてスタートしましたが、新規参入事業者や料金メニューも増え、また、様子見状況であった消費者の理解も深まり、また、来年からの都市ガス自由化と相まって、活性化していくと考えられます。一方、議論されている原発再稼働による市場環境の変化や、海外事例でみる自由化後の電気料金の上昇や小売り事業者の整理、淘汰なども懸念され、冷静な対処が必要です。

最後に、来年4月より都市ガスの小売りが全面自由化となります。私の勤める会社（広島ガス）も自由化に向け様々な検討を行っています。

当社はこれまで、100年以上、ガスを通じて、一つ一つの暮らしの安心と安全を支え続けてまいりました。これからもガスを通じて、更に新たなサービスも加えて、お客さまを支え続け、引き続き、選ばれる会社となれるよう努めてまいります。

例会日・木曜日 12:30~13:30
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
 会長 金本 善行
 幹事 梶本 政明

広島西RC 検索 
 事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
 リーガロイヤルホテル広島13F
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
 E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
 作成・会報雑誌・広報委員会